

グー・ズ・ア・ップ

盛大に夏祭りを開催

大胡・宮城・粕川地区で盛大に夏祭りが行われました。大胡地区では町内を練り歩いた勇壮な暴れ獅子が、宮城地区では祭りのフィナーレを飾った鮮やかな花火が、粕川地区では会場を練り歩いたみこしや山車が、夏の風物詩である伝統の祭りを盛り上げました。

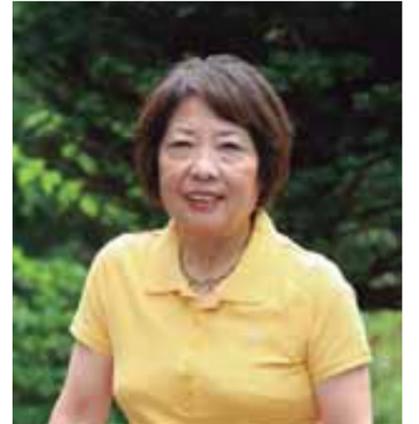


大胡

宮城

粕川

いきいき まえばし人



赤城山れんげつつじの会・会長
塩原 純子さん・71歳
富士見町赤城山

赤城山の自然・文学・歴史を伝えたい

赤城山で旅館業や飲食店などを営む女性が集まり、観光の振興を目的に結成された赤城山れんげつつじの会。その会で会長を務める。

「女性の視点を生かして赤城山をもっとアピールしていきたい。そんな思いで活動しています」

会は平成17年に発足。総合観光案内所にある文学展示コーナーの資料集めや赤城山夏まつりへの参加など、さまざまな活動を行う。また、赤城山の魅力を伝えるため、定期的に勉強会も開催している。

「赤城山には豊かな自然のほかに、文学と歴史という素晴らしい財産があることを再発見しました。文人たちが愛した赤城山を紹介していきたいですね」

幸田露伴や志賀直哉などが好んで

訪れ、作品を残している赤城山。また、文人たちの赤城山を詠んだ句が句碑として点在し、その一部は句碑めぐり遊歩道として整備されている。

塩原さんは市から依頼を受け、この遊歩道の案内を務めることもある。

「今、遊歩道の入り口に、一般の人が赤城山を詠んだ句を掲載しようと計画中です。皆さんもぜひ、応募してください」

本業は旅館のおかみ。オフシーズンにはゴルフを楽しむ。大会で優勝したこともある腕前だ。

「来年の群馬デステイネーションキャンペーンを成功させ、その後も皆さんが繰り返し赤城山を訪れてくれるようにするのが目標です」

これからの赤城山への思いを胸に、全国へ赤城山を発信し続けてほしい。

わたしたちの学校 ニュース

「つながり」を深めて

生徒会本部役員 高橋 直也さん

わたしたちの南橋中では、地域とのつながりを深めるため、さまざまな活動を行っています。その中から2つの活動を紹介いたします。

1つ目はエコキャップ運動です。これは、ペットボトルキャップを回収し、発展途上国の子どもたちのワクチン接種を支援する活動です。南橋公民館内に回収箱を置いて、地域のみなさんにも協力してもらっています。昨年末から7月までに約6万9,600個のキャップを集めることができました。キャップ800個で1人分のワクチン代になるので、87人の子どもたちにワクチンを届けることができます。これからの運動を継続し、より多くの子どもたちの命を救えるよう頑張っていきたいです。



たくさん集まりました



元気に朝のあいさつ

生徒会では、活動方針に「つながり」を掲げています。これらの活動を通して、これからもさまざまな「つながり」を大切に、南橋中がさらに素晴らしい学校になるよう頑張っていきたいと思います。